

問題用紙は、試験監督員からの開始の指示があるまで一切開かないでください。

令和 3 年度

第 二 種 販 売

法令試験問題

KX

試験時間 9 : 30 ~ 10 : 30

注 意 事 項

- (1) 配布された問題用紙の種類（左上に黒地白文字で示しています。）が受験する試験の種類に間違いがないか、また、問題用紙と受験番号札の色が合致しているかどうか、必ず確認してください。
万一、異なる場合は、速やかに試験監督員に申し出てください。
- (2) 答案用紙に記入されている受験番号、氏名等を確認し、間違いがあれば「受験者住所等修正票」を請求し、正しい内容を記入して試験監督員に提出してください。
- (3) ①受験番号の下 4 桁が「0001~1999」及び「5001~5999」の方は「全問（問 1 ~ 問20）」を受験してください。
②受験番号の下 4 桁が「3001~3999」及び「7001~7999」の方は「高圧ガス保安法令に関する問題（問 1 ~ 問10）」を受験してください。
③受験番号の下 4 桁が「2001~2999」及び「6001~6999」の方は「液化石油ガス法令に関する問題（問11~問20）」を受験してください。
- (4) この試験は電子計算機で採点しますので、答案用紙に記入する際には、記入方法を間違えないように特に注意してください。
電子計算機は、黒く塗りつぶした ● の部分を読みとります。
- (5) 試験問題の解答は多肢選択式です。解答は、各問題の下に掲げてある(1)~(5)の中から、**最も適切なものを 1 問につき 1 個だけ選んでください**。1 問につき 2 個以上選択した場合には、その問題については 0 点になります。
- (6) 解答は、次の例にならって、答案用紙の所定の欄にマークしてください。
「記入例」
問 次のうち正しいものはどれか。
(1) A (2) B (3) C (4) D (5) E
(1) (2) (3) (4) (5)
(3)を選択する場合には、○ ○ ● ○ ○ のように、○ の枠いっぱいにはみ出さないように HB 又は B 鉛筆で黒く塗りつぶしてください。
- (7) 試験問題に関する質問にはお答えできません。
- (8) 「問題用紙」及び「答案用紙」は、試験監督員の指示に従い必ず提出してください。

二販(法)KX

問1 から問10までの問題は、高圧ガス保安法に係る法令に関するものです。

次の各問について、高圧ガス保安法に係る法令上正しいと思われる最も適切な答えをその問の下に掲げてある(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の選択肢の中から1個選びなさい。

なお、経済産業大臣が危険のおそれのないと認めた場合等における規定は適用しない。

(注) 試験問題中、「都道府県知事等」とは、都道府県知事又は高圧ガス保安法に関する事務を処理する指定都市の長をいう。

問1 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 内容積が1デシリットル以下の容器に充填された高圧ガスは、いかなる場合であっても、高圧ガス保安法の適用を受けない。
- ロ. 販売所（特に定められたものを除く。）においては、何人も、その販売業者が指定する場所で火気を取り扱ってはならない。
- ハ. 販売業者が第二種貯蔵所を設置して、容積300立方メートル（液化ガスにあつては質量3000キログラム）以上の高圧ガスを貯蔵したときは、遅滞なく、その旨を都道府県知事等に届け出なければならない。

(1) ロ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問2 次のイ、ロ、ハのうち、液化石油ガス保安規則に定める第一種保安物件であるものはどれか。ただし、事業所の存する敷地と同一敷地内にないものとし、他の施設は併設されていないものとする。

- イ. 医療法に定める病院
- ロ. 収容定員300人以上である劇場
- ハ. 学校教育法に定める大学

(1) イ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問3 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 温度35度以下で圧力が0.2メガパスカルとなる液化ガスは、高圧ガスである。
- ロ. 高圧ガス保安法は、高圧ガスによる災害を防止して公共の安全を確保する目的のため、高圧ガスの製造、貯蔵、販売及び移動を規制することのみを定めている。
- ハ. 販売業者が高圧ガスを容器により授受した場合、その高圧ガスの引渡先の保安状況を明記した台帳の保存期間は、記載の日から2年間と定められている。

(1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問4 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスを充填するための容器（再充填禁止容器を除く。）及びその附属品について正しいものはどれか。

イ．容器に充填する液化石油ガスの質量は、その容器の内容積に関係なく、容器に刻印等又は自主検査刻印等で示された最大充填質量以下でなければならない。

ロ．容器の所有者は、所有する容器の表示が滅失したときは、その表示をし直さなければならない。

ハ．容器の廃棄をする者は、その容器をくず化し、その他容器として使用することができないように処分しなければならないが、容器の附属品の廃棄については、その定めはない。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ロ (5) ロ、ハ

問5 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスを充填するための容器（再充填禁止容器を除く。）について容器保安規則上正しいものはどれか。

イ．容器に刻印等をすべき事項の一つに、その容器の内容積（記号 V、単位 リットル）がある。

ロ．溶接容器の容器再検査の期間は、その容器の製造後の経過年数に関係なく定められている。

ハ．容器には、その充填すべき高圧ガスの名称が刻印等で示されているので、そのガスの名称を明示する必要はなく、その高圧ガスの性質を示す文字を明示することと定められている。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ロ (5) イ、ハ

問6 次のイ、ロ、ハの記述のうち、特定高圧ガス消費者が消費する特定高圧ガス以外の液化石油ガス（液化石油ガスを燃料として使用する車両において、その車両の燃料の用のみに消費される液化石油ガスを除く。）の消費に係る技術上の基準について液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．充填容器及び残ガス容器は、転落、転倒等による衝撃又はバルブの損傷を受けないよう粗暴な取扱いをしてはならない。

ロ．貯蔵設備及び減圧設備並びにこれらの間の配管の周囲5メートル以内においては、特に定める措置を講じた場合を除き、火気（その消費設備内のものを除く。）の使用が禁じられているが、引火性又は発火性の物を置くことについては禁じられていない。

ハ．消費設備（特に定めるものを除く。）の修理を行うときは、あらかじめ、その作業計画及び作業の責任者を定めなければならない。

- (1) イ (2) ハ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) ロ、ハ

問7 次のイ、ロ、ハの記述のうち、車両に積載した容器（内容積が25リットルを超えるもの）による液化石油ガスの移動に係る技術上の基準等について液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ. 液化石油ガスを移動するときは、消火設備並びに災害発生防止のための応急措置に必要な資材及び工具等を携行しなければならない。
- ロ. 液化石油ガスの充填容器又は残ガス容器は、その内容積にかかわらず、消防法に規定する危険物と同一の車両に積載して移動することができる。
- ハ. 液化石油ガスを移動するときは、移動中の災害防止のために必要な注意事項を記載した書面を運転者に交付し、移動中携帯させ、これを遵守させなければならない。

- (1) イ (2) ハ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) ロ、ハ

問8 次のイ、ロ、ハの記述のうち、販売業者が販売する液化石油ガスを購入して消費する者に対し、所定の方法により、その液化石油ガスによる災害の発生の防止に関し必要な所定の事項を周知させなければならない場合、その周知について液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ. 周知させるべき時期は、「販売契約を締結したとき及び周知してから2年以上経過して液化石油ガスを引き渡したときごと」である。
- ロ. 周知させなければならない対象となる液化石油ガスの用途の一つに、熱切断がある。
- ハ. 販売する液化石油ガスに対する適応性に関する基本的な事項の他、消費設備の操作、管理及び点検に関し注意すべき基本的な事項は、周知させるべき事項に含まれる。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問9 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスの販売業者について正しいものはどれか。

- イ. 販売業者は、液化石油ガスを燃料（工業用燃料を除く。）の用に供する消費者に販売する場合には、配管の気密試験のための器具及び設備を備える必要はない。
- ロ. 販売業者は、所定の免状の交付を受け、かつ、液化石油ガスに関する所定の経験を有する者のうちから販売主任者を販売所ごとに選任しなければならないが、その免状は第二種販売主任者免状に限られている。
- ハ. 販売業者は、選任していた販売主任者を解任し、新たに販売主任者を選任した場合は、その解任及び選任について、遅滞なく、都道府県知事等に届け出なければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ハ (5) ロ、ハ

問10 次のイ、ロ、ハの記述のうち、販売業者が液化石油ガス（質量が1.5キログラムを超えるもの）を容器（液化石油ガスを燃料として使用する車両に固定した容器（その車両の燃料の用のみに供するものに限る。）を除く。）により貯蔵する場合の技術上の基準について液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ. 特に定められた場合を除き、車両に積載した容器により貯蔵してはならない。
- ロ. 容器置場には、携帯電燈を携えて立ち入ってはならないと定められている。
- ハ. 残ガス容器（内容積が24リットルのもの）には、転落、転倒等による衝撃を防止する措置を講じれば、バルブの損傷を防止する措置を講じなくてよい。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問11から問20までの問題は、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（以下「液化石油ガス法」という。）に係る法令に関するものです。

問11から問20までの各問について、液化石油ガス法に係る法令上正しいと思われる最も適切な答えをその問の下に掲げてある(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の選択肢の中から1個選びなさい。

なお、経済産業大臣が危険のおそれのないと認めた場合等における規定は適用しない。

問11 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 液化石油ガス法は、液化石油ガスによる災害を防止し、もって公共の福祉を増進するために、保安機関の健全な発展を図ることも目的としている。
- ロ. 一般消費者等には、液化石油ガスを飲食物の調理のための燃料として用いる船舶内の飲食店も含まれる。
- ハ. 一般消費者等とは、液化石油ガスを燃料（自動車用のものを除く。）として生活の用に供する一般消費者及び液化石油ガスの消費の態様が一般消費者に類似している者であって、特に定められたものをいう。

(1) イ (2) ロ (3) ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問12 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 1の経済産業局の管轄区域内であって2以上の都道府県の区域内に販売所を設置して液化石油ガスの販売事業を行おうとする者は、それぞれの販売所の所在地を管轄する都道府県知事に登録の申請をしなければならない。
- ロ. 充てん設備を用いて供給設備に液化石油ガスを充てんしようとする者は、その充てん設備ごとに経済産業大臣の許可を受けなければならない。
- ハ. 保安機関は、供給設備又は消費設備の設置の場所その他保安業務を行うべき場所に立ち入ることについてその所有者又は占有者の承諾が得られないときは、その保安業務を行わなくてよい。

(1) イ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問13 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 液化石油ガス販売事業者は、特に定められた場合を除き、販売所ごとに面積3平方メートル以上の自己の用に供する液化石油ガスの貯蔵施設を所有し、又は占有しなければならない。
- ロ. 保安業務を行おうとする者は、液化石油ガス販売事業の登録を受けた者でなければ認定を受けることができない。
- ハ. 特定供給設備を設置して液化石油ガスを供給しようとする液化石油ガス販売事業者は、特定供給設備の所在地に関係なく、その液化石油ガス販売事業者の住所を管轄する都道府県知事の許可を受けなければならない。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問14 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガス販売事業者が選任する業務主任者について正しいものはどれか。

- イ. 液化石油ガス販売事業者が販売所ごとに選任しなければならない業務主任者の要件は、その者が第二種販売主任者免状又は液化石油ガス設備士免状の交付を受け、かつ、液化石油ガスの販売の実務に6か月以上従事した経験を有することである。
- ロ. 液化石油ガス販売事業者が一般消費者等と液化石油ガスの販売契約を締結したときに、その一般消費者等に交付する書面の作成を指導することは、業務主任者の定められた職務の一つである。
- ハ. 液化石油ガス販売事業者がその従業者に対して行う保安教育の実施を監督することは、業務主任者の職務として定められていない。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ロ (5) ロ、ハ

問15 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 保安機関が行う保安業務に係る供給設備の点検は、供給設備の種類ごとに、それぞれ所定の回数で行わなければならない。
- ロ. 液化石油ガス販売事業者が一般消費者等と液化石油ガス販売契約を締結したとき、その一般消費者等に交付する書面に記載すべき事項の一つに、供給設備及び消費設備の管理の方法がある。
- ハ. 液化石油ガス販売事業者が液化石油ガスを質量により一般消費者等に販売した場合は、その業務に関し所定の事項を帳簿に記載すべき定めはない。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ロ (5) イ、ハ

問16 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 液化石油ガス販売事業者は、所定の規格に適合しない液化石油ガスを一般消費者等に販売又は引渡しをしてはならない。
- ロ. 液化石油ガス販売事業者が液化石油ガスを販売するとき、その販売に係る貯蔵の基準は定められていない。
- ハ. 液化石油ガス販売事業者は、特に定められている場合を除き、充てん容器を供給管若しくは配管又は集合装置に接続して販売しなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問17 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスの販売の方法の基準について正しいものはどれか。

- イ. 液化石油ガス販売事業者は、一般消費者等から液化石油ガス販売契約の解除の申し出があった場合において、消費設備に係る配管であってその一般消費者等が所有するものについては、遅滞なく撤去しなければならない。
- ロ. 貯蔵施設に置かれる充てん容器及び残ガス容器であって、それぞれ内容積が5リットルを超えるものには、転落、転倒等による衝撃及びバルブの損傷を防止する措置を講じ、かつ、粗暴な取扱いをしてはならない。
- ハ. 供給管若しくは配管又は集合装置に接続されていない充てん容器及び残ガス容器は、それぞれ区分して販売所の任意の場所に置くことができる。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) ロ、ハ

問18 次のイ、ロ、ハの記述のうち、供給設備（特定供給設備及びバルク供給に係る供給設備を除く。）の技術上の基準について正しいものはどれか。

- イ. 貯蔵能力が1500キログラムの貯蔵設備には、不燃性又は難燃性の材料を使用した軽量の屋根又は遮へい板を設けなければならない。
- ロ. 貯蔵能力が2900キログラムの貯蔵設備に、液化石油ガスが滞留しないような措置を講じている場合は、消火設備を設ける必要はない。
- ハ. 貯蔵能力が1000キログラムの貯蔵設備には、その外部から見やすいように警戒標を掲げなければならない。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問19 次のイ、ロ、ハの記述のうち、供給設備（特定供給設備及びバルク供給に係る供給設備を除く。）の技術上の基準について正しいものはどれか。

イ. バルブ、集合装置、供給管及びガス栓は、使用上支障のある腐しよく、割れ等の欠陥がないものとしなければならない。

ロ. 調整器（二段式減圧用一次側のものを除く。）とガスメーターの間の供給管は、その設置の工事の終了後、8.4 キロパスカル以上の圧力で行う気密試験に合格するものでなければならない。

ハ. 供給管を地盤面上に設置する場合においてその周辺に危害を及ぼすおそれのあるときは、その見やすい箇所に液化石油ガスの供給管である旨、供給管に異常を認めたときの連絡先その他必要な事項を明瞭に記載した危険標識を設けなければならない。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問20 次のイ、ロ、ハの記述のうち、消費設備（質量により液化石油ガスを販売する場合におけるものを除く。）の技術上の基準について正しいものはどれか。

イ. 配管は、漏えい試験に合格するものでなければならない。

ロ. 腐しよくを防止する措置を講じた配管は、建物の基礎面下に設置することができる。

ハ. 屋内に設置されている密閉式ガスふろがまの給排気部の先端は、障害物又は外気の流れによって給排気が妨げられない位置でなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) イ、ロ、ハ